



遠藤 誠 議員  
(WAKABA)

**問** コミュニティ事業について

市の事業、特に福祉は大きく2つ、給付とコミュニティづくりになる。今までコミュニティ事業は重視されていなかった。職員の意識を変えて、社会福祉協議会、シルバー人材センターをプラットフォームに組み立て直すべきだがいかがか。

**答** 両組織を支援し地域福祉を推進したい

行政と市民が協働した地域づくりを推進していくことは大変重要であり、社会福祉協議会とシルバー人材センターは、当市の地域づくりにおいて重要な役割を果たすものと捉えている。両組織を支援することで地域福祉の推進につなげていきたい。

**問** 近現代の美術品を展示する工夫を

現状では市内で美術品を鑑賞する機会が極めて限られている。市内に個人が所蔵する美術品については実態把握されていない。所蔵品を展示することで実態調査もでき市民の鑑賞の機会も提供できる。市としてどんな形でも展示を実施する気はないか。

**答** ギャラリーを活用し展示の場を提供する

市主催の展示はできないが、生涯学習センター〔こもれびの森〕には、市民等が自ら創作した作品等を展示することができるギャラリーを備えている。個人が所蔵する美術品についても、このギャラリーを活用して、市民が鑑賞できる機会を提供していく。



黒須大一郎 議員  
(白岡ビジョン)

**問** 市の財政規律とは

市財政規律を①借入れの制約②税率や課税制限など財源の確保③住民サービスなど提供する際の歳出制限④予算編成プロセスの透明性、以上4つの視座で伺う。また、市財政規律を一言で表すとどういう言葉か。

**答** 秩序を持った財政運営に取り組んでいく

①適債性<sup>てきさいせい</sup>を勘案した起債による後年度負担の平準化②税率の検討における社会情勢の変化の慎重な把握③取捨選択による真に必要な事業の提供④予算概要等の市ホームページでの公開、に取り組む。事業の取捨選択・順位付けにより、秩序を持った財政運営に徹する。

**問** 行財政改革推進を問う

行財政改革推進の取組35項目での効果額合計約6.2億円を見込んだ事業案と総事業費は。また、その位置付けと効果額などは。市民が共感する目標事業案とその経費を示し、白岡進化大作戦と名付けて多数あるまちづくりの計画の推進力とするべきでは。

**答** 行財政改革方針に基づき取組を進める

行財政改革方針に基づく取組の効果額を活用して実施する事業は、市の発展において重要となる都市計画道路の整備などである。その費用は、今年度以降、都市計画道路白岡宮代線、白岡駅東口線、白岡駅西口線及び白岡駅前広場の整備で約87億円である。



成長していく和の白岡  
鈴木 楓侅菜さん